

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和5年1月31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 安東建設
所在地	〒879-2202 大分県大分市大字白木2の3571番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 上田 真生
担当者連絡先	電話：097-575-1058 (担当：営業部 河内 和広)
	メール： kkando@andokensetsu.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.andokensetsu.co.jp/index.html

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は大正3年4月(1914年)に創業した総合建設業者であり、大分県の港湾、海岸を中心とした海洋土木工事、浚渫工事を始め、一般土木・舗装工事・管工事など社会インフラ整備の公共事業を請負っている。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	資格取得、教育訓練などの社員への支援	・資格取得・講習の斡旋(50件以上)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	誰もが安心して生活できる環境づくり	・国・海上保安庁・県・市との防災協定に沿った取り組み。(訓練等を含む) ・地域の清掃活動(年2回) ・交通安全運動(年3回)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	新規雇用の促進	・新卒・中途・性別に関わらない雇用 ・職場体験・企業説明会等への参加

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	性別、年齢、障害、国籍、出身などによる差別がない体制づくりを、経営陣が積極的に周知。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則にハラスメント防止に関する規程を明示し、当該規程を遵守するように明記。 ・相談窓口を設置等によりハラスメント防止。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・4週8休の推進。 ・有給休暇の取得を行える労働環境の整備。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・感染症等に関して定期的な感染予防の啓発、罹患時の連絡体制・対処指導の徹底。 ・各現場毎の安全教育・安全パトロールを実施し是正報告をしている。 ・ISO45001認証取得。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	労働者のメンタルヘルスを良好に保つ為、相談窓口を設置している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性活躍推進宣言 ・多様な人材が活躍出来るように施設の整備や個人に寄り添った勤務時間、就業場所等の人員配置を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格取得の費用を全額支給している ・資格試験や講習の受講を斡旋している。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	実績、能力、実労働に応じた適正な評価の実施。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・定期健康診断にオプション(腫瘍マーカー等)追加。 ・40歳以降、5年毎に人間ドッグ実施(費用会社負担)。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	産業廃棄物処理要領に基づき、マニフェストを作成し、適正に処理している。										11.6	12.4 12.5	14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	ガソリンなどの燃料使用量、電気使用料等を把握することにより、エネルギー利用の効率化を行っている。							7.3				13						

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	環境配慮型の最新設備を積極的に導入し、CO2排出削減に取り組んでいる。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	業務に使用する化学物質を把握し、SDSを入手・周知することで適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	工事で生態系に悪影響を及ぼさないよう海水の汚濁防止措置や砂浜の移設等、現場の状況に沿った生態系保護の取り組みを行っている。						6.6							15				
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	2013年4月19日の取得から今日まで継続してISO14001を取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	自社WEBサイトにて環境への取り組みを掲載することで社内外に開示している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ 建設発生土の再利用。 ・ 散水車の井戸水利用。											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ 工事の施工管理において施工計画に沿った作業を遵守し、適切な品質を保ち出来形管理を行っている。 ・ 竣工検査前に社内検査を実施している。			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ ISO9001を2013年4月19日に取得以来、今日まで継続して取得している。										9							
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	自社所有船舶を有効活用し、海の環境を維持する取り組みを行っている。							6				12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 気候変動や災害に強い製品、工法を採用することで長寿命社会インフラの構築に努めている。 ・ 国・県、市と災害協定を締結している。 ・ 災害時の復旧作業に使用する資機材を備えている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	自社保有の船舶を活用するからこそ可能である工事を施工することで港湾・漁港等のインフラ整備に貢献している。						4				9		11	12		14	15	17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・ 地域清掃活動に参加している。 ・ 交通安全街頭運動に参加している。 ・ 定期的に地元学生を対象に職場体験を実施している。					4						11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	外注・資材調達等、地元企業の治用。									8	9		11	12	13			

